

雑文 2 題

JJ1SXA/池

JARL が創立 100 年を迎えた、ビューローとして、QSL カード交換には無くてはならない存在だったが、今は、LoTW (Logbook of The World) や eQSL (electronic QSL) 或いは OQRS (Online QSL Request System) 等の出現で、QSL カード交換だけの利用では存在の意味が無くなったようだ。

その昔は、DX ペディ等の珍局のカード請求には、ダイレクトで SASE に同封する IRC の枚数を増やしたり、グリーンスタンプを何枚も入れるとか、大変だった。

100 周年にちなみ、「100 周年記念アクティビティコンテスト(2026 年 6 月 1 日～2027 年 5 月 31 日)」というのが実施されている、また、「100 周年記念日運用証」というのが発行された(下図)



話変わって、私は、キリスト教の信者では無いが、マタイ伝 7 章に、「聖なるものを犬にやるな。真珠を豚に投げ与えるな。犬も豚もそれを踏みにじり、向き直ってあなたをかみ裂くだろう。」とある、「物事の価値を知らぬ人に大切なものを渡すな」そんな含意のある警句だ。

ことわざ「猫に小判」や「豚に真珠」は、いかにも日本的な成句だと、思っていたら、前述のように、新約聖書から引用されているのだと知って、故佐藤 OM 流に言えば、驚きがびつくりだ。(笑)

「マタイ伝(マタイによる福音書)は、新約聖書の冒頭に収められている文書で、イエス・キリストの生涯と教えを記した「四福音書」の一つだ。(2026 年 7 月記)